

大豊村進路指導協議会	探採	砂子小・岩原小両校の 合併進について	探採	第六十二回定例会議会は 申し合せによる各常任 員長と副委員長の任期満 了による改選を行った。
田口中学校々舎増築並 に教員一名の増員につ いて	探採	内校舎古材払下げにつ て（穴内校下代表森下 松岡勝男）	探採	新しい委員長、副委員 は次の通り。
政高女の建築について	探採	産業経済委員会	委員長	三谷
道蔭線路面整備費助成 について	探採	建設委員会	委員長	桑名
茂谷シシバ村道改修に ついて	探採	教育民生委員会	委員長	秋山
公務員の差別撤廃に関 して（保育所不採択に 対し自動車の配置方につ いて）	探採	委員長	小林	秀
		委員長	武	弘
		委員長	雪	豊
		委員長	吉川	永
		委員長	松岡	雪
		委員長	永	弘

相談内容は絶対他には洩れませんが、安心して御相談下さい。特に小口資金の貸付金融の問題は直ちに解決策が見出されると思われます。

本所 相談員 豊永 尚文
西豊支所 同 三谷 軌親

校下負担について 採択
校内被災害被害校舎の古材無
償払下げについて 採択
養育所について 採択
東豊永保育所の諸施設改
善について 採択
校内被災害校舎の古材無
償払下げについて 採択
（一部落） 採択
内校舎古材払下げにつ
て（東部消防分団） 採択

消防機械の整備並びに
設方について（東部分
岩原支部） 採択
耐火建築に対する固定
座の木造同様課税方
にいて（落合岩崎調外
名） 不採

村議会
各常任委員
長等を改選

	大豊村進路指導協議会	採択
	砂子小・岩原小両校の 合併促進について	採択
	田口中学校々舎増築並 に教員一名の増員につ いて	採択
	内校舎古材払下げにつ て（穴内校下代表森下 松岡勝男）	採択
	政高女の建築について	採択
	道蔭線路面整備費助成 について	採択
	茂谷シシバ村道改修に ついて	採択
	公務員の差別撤廃に関 して（保育所不採択に 対し自動車の配置方に つ	採択
	第六十二回定例会決議は 申し合せによる各常任 員長と副委員長任期満 了による改選を行った。 新しい委員長、副委員 長の次への通り。	総務委員会 委員長 副委員長 産業経済委員会 委員長 三谷 小笠原亜 桑名 秋山弘 武秀 小林 秋山秀 吉川永
	建設委員会 委員長 副委員長 教育民生委員会 委員長 松岡雪 副委員長 吉川永	

立野田村万石

旧森林組合は戰時中戦力増強を主眼として戰時体制に即応する組合として作られたのであるが、戰後社会機構と經濟の大変革に伴うために、昭和二十六年森林法を改正して民主的經濟団体として改組された民主的協同組合である。

旧組合は森林所有者が所有する森林を元に結合した土地組合たる性格を持ち、である。

又組合の運営も民主的であつて、森林施業の合理化により森林所有者の經濟的社会的地位の向上を図り、併せて森林の保続と培養増殖、国土保全を目的としての事業を行い且つ（組合は組合員に直接奉仕し組合の利益を目的とする事業を行うことはならない）とハツキリ示されて居るのである。

求むるが如き態度を殊更忌避して、知らしめず言はれぬ数字の羅列と一片の報告に留め、事件の核心に接触問題点を忌避するが如きありかたは實に非民主的であるばかりでなく陋劣と断ずる外ないのである。

之は單に幹部だけの罪ではなく、組合員の認識不足に起因する所であるといふ。

併問題の具体化と俱にこの本質問題が台頭して来ると組合の基礎が揺ぐ事になるのである。況んや日頃組合の運営に不満や不快があるとするば益々拍車をかけ其の成り行は愈々重大となつて来るのである。組合の平和と発展の本質問題は何処までも的に納得の上に行ひ組合各自の福利増進に着目間違なき様運営を望むのである。

昭和三七・七・一〇稿

[illegible][illegible]

をも含めてはあるまいか。だがこれは憲法改正前のことであって男女同權が國法で制定実施の今日、いや同權どころではない亭主同權、そして余勢は他家まで及ぶ実力婦人もあるに見識も決して恐れるべきではない。

政治といってもイササカ巾の広いものぢやろうが、その中、最も重大なことに

というのが多いようだが、これは間違いで自分と見解の一致する候補者を見出し決めるのが正当だろう。そこで去る七月の參議院選當時のおちこちの洩れ聞きをひろつてみると、投票日も明日に迫つた夕暮れ路上の立話しに

「オマン明日選挙に行くよ。」

「日曜なら日の草とりが屋

して至る処に同一手口はあると解釈してよからう。またある処では棄權防止があんまりやかまはしいけん行かぬや妙に悪いが、誰にしてエエやら見當がつかんそこで近所の物識りに問ひにくい。

全国区、地方区そんな面倒くさいことをいつたら覚えておるかいよ。オマンチヨツコリ何ぞえ書いてよんぜ

保健衛生部会 ●高井適 岡林長盛、森下勇	民生児童部会 ●豊永尚文 岡中利信、三谷軌親、西 岡正雄	青年婦人部会 ●秋山信吉 豊永美恵子、長谷川光恵 西岡宗康	総務部会 ●鈴木茂茂、秋 山正隆、平尾国登、松岡 雪男	各種關係団体並に施設 代表者並に本会の趣意を 賛同する人を用いて組 成する
社会教化部会 ●吉岡義成	第五條 本会に左記の役 員を置く	会長一名、副会長五名 理事二十名、会計一 名、監事二名、顧問若干名 専任職員一名	第六條 役員は総会に於 て選任する。	

第十五条 本会の資産は左に掲げるものにより成立する。

◆田村氏が鋭い筆致で問題点を抉り乍ら建設的な御意見を寄せられていますが、このような御意見を他の方からもお伺いしたいものです。建設的な御意見が紙上を多く飾るようになれば、

[illegible]

すらも有能の士もあり、どうにかこうにか初期の結束はついた。
 道理でもある、山男を引すり出して村長のイスにおき、今日からその職務をとれたというのと同然だから、それが一同よい経験となつたわい。
 この工事は四期位にわかれようが、準備は六月より第二期工事の準備よりかかりた。現在用地交渉中だが地主側の中には、そう易々と通さぬ氣構えをみせて居る人もあり、土地代金は取らんより取った方がよい少いよりは多い方が妙に都合がよいことは解るがそれ
 御婦人へチクとひとこと
 婦人と政治Ⅱ選挙Ⅱ
 農道のことは一時棚上げとして筆者数年来懸案の首題のことに数れてみる。
 男側への批判、注文も多々あるうが、先づ一応言わしてもらうとする。
 いささか辛辣に受取られる点もあらうが、ずば抜きの旗印で駒を乗り出した阿呆の餅屋のことで言いくいたので、これを置き忘れたといつて、このあたり悪しからず御了承を願う。
 御婦人の家庭に於ける役割りは家経、設計、綿密、周到、ミソ桶の底まで眼を、通し家人の勧め先や外出中にあるが、このあたりのこと
 までもないが、大別、男女二分してみると政治、社会姿勢に対する関心、知識は何時の時代でも数日の開きがあることは否定出来ないとい遺憾乍ら婦人識者も認めているようだ。
 周知の如く古来の一説に女のかしこといふの男の阿呆とは丁度ボツツリ位とあるは、無礼も千万な醜言ではあるが、このあたりのこと

と選舉の巻

手野

公文正則

選挙がある。

政治家にとっては、その政治を発揮出来るか否かの死活問題であると同時に吾等権者にとっては、その選び方如何によってどんなにひびいて来るかということ。そこで古来の傾向として

「誰それがあんまりうけるにに入れちやらないでく」

でも降りやあ行ってもエエ

「そうかよ、アテイは創価学会からやってくれんかというきに、やろうかと思ひよるがオマンもやらん？」

「アテイはナンミヨウは今の所やん気がせんも」

「そんなら社会党かよ」

「いや社会党は妙に虫がすかん。妙な書いたものが来ちヨツタが写真もある。いんであれどもみてからのことよ。」

あのふんならば自民党あたりの男前よいのか、文字の書きよいかに落着いたちやろう。

虫が選んだ虫選挙でも名づけるが一票入らなことになる。いや一票と非

で行く。もし途中で落せばそれでオジャン。あとで問われても何ややらサツパリ判らん。紙片通りに書いたケニ、政見を氣に入つた、経歴がよい、大局の見地より斯くすべきの判断はついてない。

從つて確固たる根拠も無いから行く途中で何物か見れば何れなりと変り兼ねないフラフラ腰、宗教団体は己の所属にやればバチが当たると思ひ込み、労働者家族は此れまた所属以外ではテコでこねても動かんだらう。

革新名士が常にもらす、組織票は固いものぢやと目信満々。

斯様な当定票をも含めて正当、盲當きまぜて因に県に村議会に吾等の代表は

大豊村社会福祉協議会 会則

第一条 本会は大豊村社会福祉協議会と称し事務所を大豊村高須大杉農業協同組合階上に置く。

第二条 本会は村内住民が健康で文化的な最低限度の生活を営むことが出来る様、社会福祉を増進し保健衛生、教育文化の向上を図る明い地域を建設することを目的とする。

第三条 本協議会は前条の目的達成のため左記の事業を行う。

1 社会福祉を増進するための必要な調査資料の作成に普及、宣伝に關する事業。

第八条 監事は定期又は事に会計を監査して總に報告しなければならぬ。

第九条 役員は任期は二年とする。但し再任をげない。

1 補欠により就任した員の任期は前任者の任期間とする。

2 役員は任期満了後も任者の就任する迄を職務を行うものとす。

第十条 顧問は会長が委嘱し会長の諮問に応じる。

第十一条 本会の事務を理するため事務職員を

会 事	臨 会	な ケ	妨 役	後	る	購 延
◆問題点を具体的に余り長文にならぬよう。せいせい四千字詰原稿用紙に四、五枚程度でお願い致したいと思います。	◆次号では村の産業、教育社会福祉など、いずれかの問題をとらえて二部落位、同一テーマで御意見を伺いし紙上に発表したいと考えています。	◆前々号、二回に渡って投稿連載し好評を博した「あほうのもちつき」が小休止中でしたが、本号から、ちつでの機械を回転し初めました。筆者の諧謔的文面の中からピリリ辛い身近な世評が伺われ教えられる所をさして機械が止まらぬよう	◆発行は十月上旬の予定。	◆国道三十二号線改修大豊関係分の計画概要も発表の予定です。		